



センター長あいさつ(藤敷庸二)

支援って何をすれば支援なの？と聞かれたら、私は、当たり前のことを当たり前にすることが支援の基本だと答えるでしょう。「困っている人がいたら、大丈夫かなと気にかけて、どうしても助けが必要な時に手を差し伸べる」これが支援の原点だと思っています。

しかし、現在の社会では、そう単純にはいかないリスクが存在します。リスクとは、「ある行為により好ましくない結果が生じる可能性」のことです。つまるところ、価値観の多様化で、何がきっかけで責任問題になるかわからない世の中になっているからです。だから、できるだけ自分の責任の範囲を狭めて、範囲外のことは関わらない。リスク管理の視点から見れば、それが正しい方法だと考えられがちです。また、専門家に任せたい方がいい、素人が関わらない方がいいと考える節もあるでしょう。

私は、今年の初めに目標として掲げたのは「原点回帰」です。世の中はいつも変化しているけど、支援の現場で、大事にしたいことは、当たり前のことを当たり前にできるようにしていくことだと思われています。三項関係(自分と相手、そして両者の関係性の中で共有している物事の三つの関係のこと)で正しいことは正しいとし、悪いことは悪いとできる関係力、人間力を持てるようにがんばりたいです。

そして、スタッフが安心して正しいと思うことができる環境を作っていきたいと思わされています。

児童家庭支援センターって、何するところ？

開所して2年が過ぎ、少しずつ「このこ」の存在を当地方で知ってもらえるようになってきました。通信今月号では、児童家庭支援センター(以下、児家セン)って、そもそも何をするところ？にお答えしていきます。児家センとは、1997(平成9)年の児童福祉法改正によって新たに制度化された児童家庭福祉に関する地域相談機関です。くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ(以下、このこ)も加盟している「全国児童家庭支援センター協議会」には、令和7年5月現在では、全国で194センターが加盟しています。(グラフ参照)

近畿ブロックは24センター加盟

グラフでも一目瞭然ですが、センター加盟数は右肩上がりです。府県別内訳は、滋賀県2、京都府3、大阪府3、兵庫県12、奈良県2、和歌山県2です。

和歌山県には、平成21年度に開設された「和歌山児童家庭支援センター」きずなが和歌山市にあります。県内初の児家センで「このこ」の先輩機関になります。令和5年度にこのこが開所して、県内2センターになりました。このこは、まだまだ初心者マークを外せない児家センであることを、常に自覚して業務に取り組んでいます。

児家セン設置運営要項

地域の方々にも少しずつ「このこ」を認知してもらい始めました。しかしながら、「児童家庭支援センターって、聞きなれないけど…」という質問を伺うことが度々あります。そこで、国が示している、「児童家庭支援センター

設置運営要項」をひも解いて、そこから、「児家セン」について、説明できればと思います。

児家センの目的

要項に書かれている児家センの目的は、以下のように読み取れます。

「児童家庭支援センターは、地域の児童の福祉に関する各般の問題につき、」

①児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行うとともに、

②市町村の求めに応じ、技術的助言その他必要な援助を行うほか、

③保護を要する児童又はその保護者に対する指導を行い、

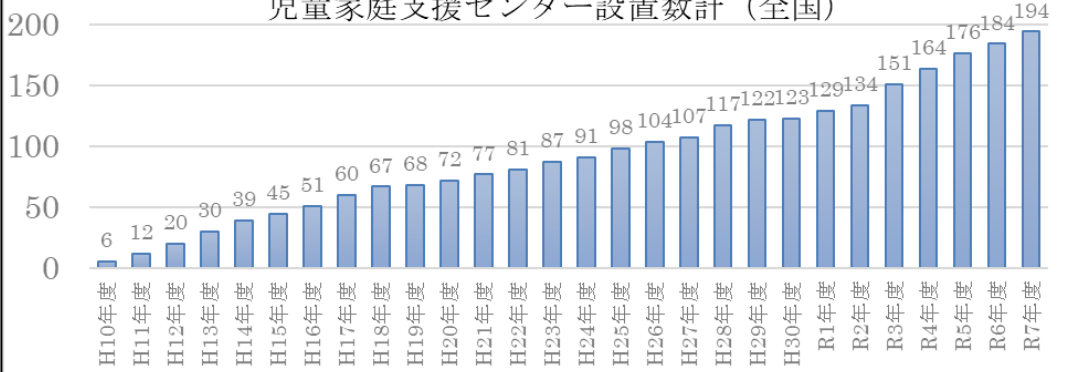
④あわせて児童相談所、児童福祉施設等との連絡調整等を総合的にを行い、

「地域の児童、家庭の福祉の向上を図ることを目的とする。」

設置及び運営の主体

「このこ」の運営主体者は「特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク」です。(次頁に続く)

児童家庭支援センター設置数計 (全国)



通信のこのこ
くまのっ子 児童家庭支援センター



令和7年6月号
(第3号) (通算25号)

運営者
特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク



(前頁の続き)設置・運営についても、要項から次のように読み取れます。

「設置及び運営の主体は、地方公共団体及び社会福祉法人等であつて、都道府県知事(指定都市及び児童相談所設置市にあつては、その長とする)が児童福祉法第27条第1項第2号による指導委託先としても適切な水準の専門性を有する機関であると認めた者とする。」

児家センの事業内容

次に今回の話題のテーマである「児家センって、何するところ?」について触れていきます。児家センの事業内容とは、要項には以下のように定められています。

(1) 地域・家庭からの相談に応ずる事業
地域の児童の福祉に関する各般の問題につき、児童に関する家庭その他からの相談のうち、専門的な知識及び技術を必要とするものに応じ、必要な助言を行う。

(2) 市町村の求めに応ずる事業
市町村の求めに応じ、技術的助言その他必要な援助を行う。

(3) 都道府県、又は児童相談所からの受託による指導
児童相談所において、施設入所までには要しないが要保護性がある児童、施設を退所後間もない児童など、継続的な指導措置が必要であるとされた児童(18歳到達後も継続的な指導措置

まずはお電話・LINE・メールでご相談ください

必要に応じてお越しください、お問い合わせもお話することもあります

ささいなことでもお電話ください 9:00~17:45

0739-45-8818

留守番電話の場合にはお名前だけ残していただければ、のちほど連絡しますので電話番号通知でお電話ください。

LINE くまのっ子のこのこ



nokonokojikasen@gmail

文章をうまく書けなくて大丈夫です。かける範囲で書いてくださればお返事します。



相談窓口 (事前にご予約をお願いします)

特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク

くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

知ろう、考えよう

子どもと学校その6

子どもの発達段階という用語に注目して5回目です。今回も、文部科学省のとらえ方で青年中期(高等学校、15歳から18歳)について、学んでいきたいと思ひます。

【参考】https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/053/shiryo/attach/1282789.htm

○高校生のこの時期は、親の保護のもとから、社会へ参画し貢献する、自立した大人となるための最終的な移行時期であるといえます。思春期の混乱から脱しつつ、大人の社会を展望するようになり、大人の社会でどのように生きるのかという課題に対して、真剣に模索する時期です。

○現在、我が国では、こうした大人社会の直前の準備時期であるにもかかわらず、自らの将来を真剣に考えることを放棄したり、目の前の楽しさだけを追い求める刹那主義的な傾向の若者が増加しています。さらには、特定の仲間の集団の中では濃密な人間関係を持つが、集団の外の人

「子どもの発達段階とは」⑤

に対しては無関心とな、社会や公共に対する意識・関心の低下といった指摘もあります。

○ これらを踏まえて、青年中期の子どもの発達において、重視すべき課題としては、以下があげられます。

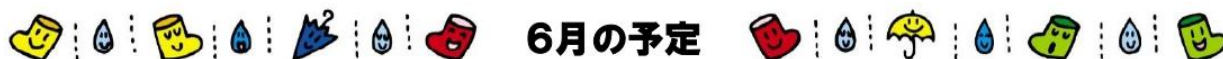
◆人間としての在り方生き方を踏まえ、自らの生き方について考え、主体的な選択と進路の決定

◆他者の善意や支えへの感謝の気持ちとそれにこたえること

◆社会の一員としての自覚を持った行動



朝夕の肌寒さはあるものの、日中は気温が上がり暑い日が多くなりました。子ども達も紫外線対策も必要な時期になってきましたが、適度に日光を浴びることは目や骨の発育に必要とされます。また、体温調節を司る汗腺の数も幼少期に決まると言われています。熱中症や紫外線対策をしながら、真夏の暑さになっていないこの時期に適度な日光浴ができるといいですね。



6月の予定

親子ひろば

6月 9日(月) } 自由遊び・紙芝居など
23日(月) } 9:30～11:00

のこのこ食堂

6月16日(月) 開始時間 11:00～12:00
(親子100円) ※大人一人増えるにつき+100円

食堂のみです。
広場はありません。

親子リトミック

6月18日(水) 10:00～10:40頃
(定員) 8組
申し込みが必要です(右のQRコードから)
動きやすい服装でお越しください



開催場所について



日	6/9(月)・23(月)	6/18(水)	6/16(月)
内容	親子ひろば	親子リトミック	のこのこ食堂
場所	白浜バプテストキリスト教会 白浜町 3137-9 (TEL 0739-45-8818)		

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら、子育ての悩み等お話もできます。教会での開催時(のこのこ食堂)は、はまゆう病院駐車場をご利用ください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

16日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用のみ予約が必要です。利用される方は
6月12日 17時45分までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。
※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



のこのこインスタ



のこのこ HP



G mail





のこのこ広場のご案内

～親子で遊びに来ませんか～

7月

少し遅れた梅雨入りの知らせが届き、今年もこの季節がやってきました。この時期は体も重く感じ、気分が晴れないかと思います。体温調節がまだうまくできない子どもたちは機嫌が悪くなってグズグズ言ったり、泣いたりすること多くなります。気分がすぐれないことを言葉で伝えられない小さな子はなおさらですね。そんな時は「ベタベタして体が気持ち悪いね」「暑くてしんどいよね。お水飲みたい？」など言葉を代弁してあげてコミュニケーションをとるのも良いものです。



7月の予定



親子ひろば 9:30～11:00

7月14日(月)

自由遊び・紙芝居など

7月28日(月)

親子リトミック (定員) 8組

7月16日(水) 10:00～10:40 頃

申し込みが必要です(右のQRコードから)

動きやすい服装でお越しください



のこのこ食堂

食堂はどの年齢の子どもさんにも利用していただけます

7月22日(火) 開始 11:00～

(親子 100円) ※大人一人増えるにつき+100円

(定員) 20組



のびのびリトミック (定員) 3組

7月3日(木) 10:00～11:00 頃

♡子どもさんの発達が気になっている保護者さん、大勢のお友達がいる場所が苦手な子どもさんなどが対象です。詳しくはお問い合わせください。



* 開催場所について *



日	7/14(月)・28(月)	7/3(木)	7/16(水)	7/22(火)
内容	親子ひろば	のびのびリトミック	親子リトミック	のこのこ食堂
場所	白浜バプテストキリスト教会 白浜町 3137-9 (TEL 080-8889-0838)			

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら子育ての悩み等お話もできます。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

駐車場は、はまゆう病院駐車場をご利用ください。

22日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用は予約が必要です。利用される方は7月17日(木)17:00 までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。

※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



のこのこインスタ



のこのこ HP



G mail

